

澄みわたった秋空に恵まれコンバインの音と共に順調に稲穂の収穫が進み、日々あちらこちらで刈り取られた田園の風景が広がっています。しかし、汗水を流しお世話をした稲も、8月中旬からの天候不順による日照不足等で収穫も減少との報告を受け、改めて今後の気候変動を危惧するしだいです。8月下旬の豪雨により村内でも3件の床下浸水等の被害が発生しました。たびたびの被災に改めてお見舞いを申し上げます。

JR 日田彦山線の鉄道での早期復旧を求める住民決起大会では、東峰村の「宝」である「列車の走る」ふるりの美しい風景を取り戻すため約400名の方々が参集し大盛会のうちに「決議文」が採択され、9月11日に県知事を始めJR九州や関係機関への提出を行った報告を受けています。

また、東峰村議会でも「日田彦山線の鉄道での早期復旧」に全力で取り組む決議が全会一致で採択されました。なお、10月2日にはJR九州からの説明会も予定されています。

この「村長ナビ」では、村外での行事等を中心に皆さんにお知らせ致します。

8月19日、甘木・朝倉広域市町村圏事務組合理事事に出席。定例会の議案等の審議をしました。

20日、甘木・朝倉・三井環境施設組合協議会に出席。定例会の議案等の審議をしました。

21日、第41回福岡県町村会中央研修会に出席。

27日、主要地方道八女香春線国道昇格促進期成会の要望活動を、地元選出国會議員、国土交通省に行いました。国土交通省事務次官（JR九州の民営化時の鉄道局長であった）には、日田彦山線の早期復旧をあえて要請しました。

30日、福岡県議会「緑友会」9名の議員が、一昨年の災害復旧状況と日田彦山線の現状と課題の確認のため来村。特に日田彦山線については現状を詳しく説明をし、9月の県議会でも代表質問をして頂くようになりました。

31日、住民による「日田彦山線の鉄道での早期復旧を求める東峰村住民決起大会」が筑前岩屋駅前で約400名の住民が参加する中で開催されました。世話人代



表は「鉄道での復旧なくして、豪雨災害の復旧・復興は終わらない」と地元負担なしでの鉄道での早期復旧を求め、JR九州や国、県へ提出する決議文を参加者全員で採択しました。

9月4日、福岡県朝倉県土整備事務所災害事業センターから砂防について説明を受けました。その後、九州地方整備局が来庁し災害復旧について意見交換を行いました。

5日、福岡県腎臓病患者連絡協議会が来庁し、腎臓病患者の支援についての陳情を受けました。

8日、「福岡県救急の日のつどいinあさくら」がピーポート甘木で開催され、「地域における災害医療対策～最近の災害から学ぶこと」の講演で「一人ひとり、そして皆の大切な命」を学びました。



13日、九州森林管理局長等が来庁。森林のあるべき姿等について意見交換。その後、JR九州副社長等が来庁し、日田彦山線の地元負担なしでの早期復旧を強く要求しました。



14日、第43回福岡県伝統的工芸品展が福岡市「西鉄ソラリアプラザ」1階で開催され、県内の7つの伝統品の1つである小石原焼も展示されました。

17日、一昨年の豪雨災害で色々な支援を受けた「甘木ロータリークラブ」代表が来庁。

18日、一昨年の豪雨災害で支援を受けたホームセンターの「株式会社グッデイ」と「災害時における物資の調達および供給に関する協定」を結び調印式を行いました。

稲刈り等でお身体にも疲労が蓄積されていることと思います。寒暖の差が厳しい季節となりましたので、皆様におかれましては体調管理にも十分注意をお願い致しますと共に、今後も村政へのご協力とご支援を宜しくお願いいたします。

※この「村長Navi」は令和元年9月18日時点で執筆されたものです。

Photo Gallery

フォトギャラリー



▲九州で唯一 県境の上にホームがある「宝珠山駅」。かつては多くの人がこの駅を利用していました。

今月の写真：「村の景色－あの駅（宝珠山駅）はいま－」



▲近くの土手を整備する為に工事車両が行き交います



JR 日田彦山線の復旧に向けて村では様々な工事が行われています。橋の修繕をしたり、護岸を直したり、雨の日も風の日も作業を頑張っていると思います。工事の方々、有難うございます。



▲ホームに残る…これは切符の回収BOXでしょうか



▲護岸の整備が続けられています(福井神社前)



▲線路の開通を夢見…いつもきれいに掃除されています



▲新しい橋をかけるための基礎工事

毎月23日は親子読書の日です。本を読みましょ

う 東峰村公民館